

楽久園厨房監修 おうち簡単メニュー

田作り(作りやすい分量)

【材料】

食べる小魚 40g 白ごま 小さじ2
 ＊砂糖 大さじ2と1/2 ＊みりん 大さじ1
 ＊酒 大さじ1 ＊醤油 大さじ1



おせちの田作りには
 「豊作祈願」と「子孫繁栄」の
 願いが込められているよ！

【作り方】

- ①食べる小魚を、ポキッと折れるようになるまでフライパンで煎ります。
 - ②小魚をザルに入れ、細かいゴミを落としてから、キッチンペーパーを敷いた皿の上で冷まします。
 - ③再度、乾いたキッチンペーパーで、フライパンのゴミを拭き取り、＊の調味料を入れ、中火にかけます。
 - ④フライパンを前後に揺すりながら砂糖を溶かし、今度は弱火にします。泡が表面積の半分位までプクプクと出てきたら、小魚・ごまを加え、一混ぜし、火を止めます。
 - ⑤薄くサラダ油を塗ったバットに広げて、冷めたら出来上がり。
- ◆パリパリに仕上げるには、小魚をしっかり乾煎りすることがポイントです。
 ◆焦げると苦味が出るので煎っている最中は目を離さず絶えず混ぜるようにしてください。
 ◆タレは煮詰めすぎないこと！カチカチにくっついてしまいます。

＜楽久園会職員のおすすめ紹介＞

今月のおすすめさんは悠久の里の足立さんです！

【今月のおすすめ】902Garage

@〒669-3143 丹波市山南町井原 353-2

Open 11:00～18:00 定休日 月曜日 火曜日

国道175号線を北上し丹波市に入ってくると、ひつじさんがお店を覗いているのが目印です。店内には流木の手作り雑貨、アメリカン雑貨、注文雑貨などなど可愛い楽しい雑貨が揃っています。店主さんは書道師範と心理カウンセラーの資格の持ち主で、双方を活かしてされているのが名前ポエム。私は孫の誕生記念に、とても素敵な物を作ってもらいました。家族や友人へ人生の節目などのプレゼントにオススメです。他にも流木を使った表札や提灯に店名を書くなど、「書ける物には書きます!!」と話されていたので、書いて欲しい物があれば相談にのってもらえると思います。一見、何屋さんか分からなくて入りにくいイメージですが、色んな雑貨を見てお気に入りの出会いと、店主さん夫婦とのお喋りに元気がもらえますので、ぜひ訪ねてみてください。

次回のおすすめさん⇒居宅介護支援事業所 桑原さん



【編集後記】

あけましておめでとうございます！

昨年、第一子となる娘が誕生し、家族に新しい命を迎えることができました。初めての子育ては想像以上に大変で、夜泣きや小さな成長の一つひとつに喜びと試練があり、世の中のママやパパがどれほどすごい存在かを改めて実感しました。今年は家族3人で迎える初めての新年。小さな命と共に過ごす時間は、かけがえのない宝物です。子育てで職場にもご迷惑をおかけしておりますが、温かいサポートに心から感謝しています。いましかない時間を大切に、2026年も健康と笑顔に満ちた一年となりますよう願っています。 上野



RAKUEN.KAI



楽久園会公式ホームページ

【社会福祉法人 楽久園会】

- ・養護老人ホーム楽久園
- ・特別養護老人ホームゆりの荘
- ・特別養護老人ホームゆりの荘(地域密着型)
- ・軽費老人ホーム(ケアハウス)ゆりの荘
- ・グループホームこぶしの里
- ・小規模多機能ホーム悠久の里
- ・幼保連携型認定こども園 キッズランドやちよ(八千代区仕出原353)
- ・小規模多機能ホーム清風の里 グループホームほのぼの園(中区中村町377-1)
- ・デイサービスセンターきじの荘
- ・在宅介護支援センター
- ・居宅介護支援事業所
- ・ゆりの荘訪問介護事業所
- ・短期入所生活介護(ショートステイ)
- ・小規模保育事業ちびっ子ランドらくえん

発行人 社会福祉法人 楽久園会 施設長 上野 仁久
 〒677-0113 兵庫県多可郡多可町八千代区俵田111番地27
 TEL 0795-37-0174(代) FAX 0795-37-1986
 URL http://www.rakuenkai.or.jp
 E-mail info@rakuenkai.or.jp
 キッズランドやちよ TEL 0795-37-0001 FAX 0795-37-2222
 清風の里 TEL 0795-30-0555 ほのぼの園 TEL 0795-21-9033

らくえんかい

楽久園会だより

Vol.347 発行2026年1月

謹賀新年

特集 新年のご挨拶 ～法人基本理念から一言～

ひとりひとりが主人公、安心・満足、あたたかい心・チームワーク

法人本部

『ひとりひとりが主人公』

2025年は、物価高騰や人材不足など厳しい環境の中での運営となり、日々試練の連続でした。しかし、そのような状況だからこそ、法人理念「ひとりひとりが主人公」を改めて心に刻み、利用者の皆さまも職員も、それぞれが大切な存在として輝けるよう努めてまいりました。困難を乗り越える過程で、一人ひとりの力が法人全体を支える原動力となったことを強く実感した一年でもあります。

この一年を支えてくださった地域の皆さまの温かいご理解とご協力、そして日々献身的に尽力いただいた職員の皆さまに、心より感謝申し上げます。

迎える2026年は、この理念をさらに深め、子育て支援を通じて未来を担う世代を育み、高齢者福祉を通じて安心と尊厳を守り、地域交流を通じて世代を超えた絆を広げてまいります。誰もが主人公として安心と満足を感じられる場を築き、地域に温かい輪を広げていけるよう取り組んでまいります。新しい年に希望を込め、心をついに、皆さまと共に歩んでまいります。

理事長兼施設長 上野 仁久

養護老人ホーム 楽久園

『ひとりひとりが主人公』

2025年、楽久園では10月の運動会に続いて、11月秋のレクリエーション(紅葉巡り)を行いました。ワンボックスカー3台を準備し、多可町八千代区の竹谷山と西脇市の西林寺に紅葉を見に行きました。参加された方に聞くと、紅葉よりも屋外で食べたもみじまんじゅうの方が印象強く残っていたようです。外出に参加されなかった方々は、おやつの時間に施設から庭の紅葉を見ながら、お茶ともみじまんじゅうを召し上がりました。

一方で対応力向上のため、フレキシブルボードを活用したノーリフトの勉強会や事例に対する話し合いも行いました。

私たちは、『ひとりひとりが主人公』という基本理念に則ってお互いにアイデアを出しながら、それぞれの入居者に応じた支援に励んでいます。

2026年も入居者の皆さん、関係者や地域の皆さん、職員の思いを汲み取れるように関わってまいります。楽久園で出会えて『一人ひとりが主人公』となることができたと笑顔で語り合えるように、職員一丸となって取り組みます。

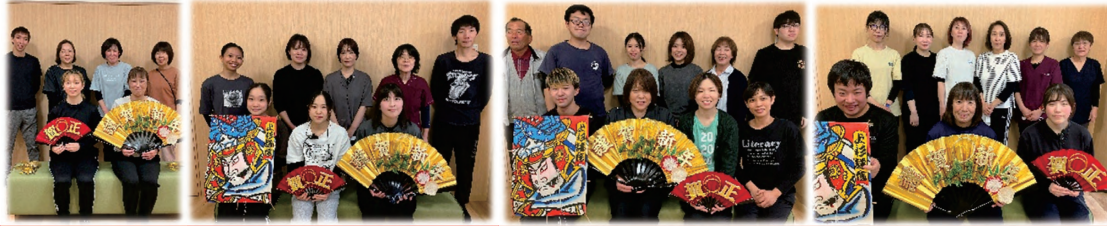
生活相談員 矢野 龍太

特別養護老人ホーム ゆりの荘

『あたたかい心・チームワーク』

介護業界は何処も人材不足が大きな課題となっています、ゆりの荘も例外ではなく人材確保に尽力して頂いております。体調不良や感染症の流行により少ない職員数の時でも、「お互い様」という助け合いの心と笑顔で、他職種連携によって利用者様の安心に結びつけられる様に努力を行ってまいりました。今年はプラス利用者様の満足を課題に、思いに寄り添える介護を心がけ、優しさでチームワークを大切に頑張っていきたいと思ひます。本年も宜しくお願い致します。

介護主任 廣畑 美紀



グループホーム こぶしの里

『あたたかい心・チームワーク』

2025年を振り返って、こぶしの里ではこの1年間は新たな入退所なく、皆さんお元気に過ごされ穏やかに月日が流れた年だったと感じます。平穏が一番です。新たな年もそのようなになってほしいと願っております。楽久園会の基本理念の一つ『あたたかい心、チームワーク』とあるように、職員が働きやすい、サポーターに言いたいことを言い合える環境があってこそ利用者へのサービスの向上につながると思ひます。その好循環を目指していくと共に、ご家族等の法人以外の方のご意見も伺いながらより良い施設にしていきたいと思います。

ケアマネジャー 藤田 健太郎



小規模多機能ホーム 悠久の里

『安心・満足』

新年あけましておめでとうございます。2025年は新年早々感染症で利用を中止して頂くことになり大変ご迷惑をお掛け致しました。より一層安心して利用して頂ける施設にしようと思ふ出来事でした。2026年も利用者様やご家族に自宅や施設で「安心・満足」に生活して頂く為に、お困り事の相談対応や利用の追加、訪問対応に変更等、臨機応変にサービスを提供していきたいと思ひます。今後も「安心・満足」して頂けるよう職員一同サービスの質の向上に努めて行きたいと思ひます。本年もよろしくお願い致します。

管理者 西田 倫清



訪問介護事業所

『ひとりひとりが主人公』

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、私たちの訪問介護サービスをご利用いただき、また皆様の温かいご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

「ひとりひとりが主人公」という想いを胸に、皆さまがご自宅で安心して、そして満足のいく毎日を過ごしていただけるような支援を心掛けてまいりました。本年も日々の暮らしの中で、小さな喜びや安心を積み重ねられるよう、各介護サービス等との連携を密にしながら、微力ながらスタッフ一同、笑顔と真心を忘れずに寄り添ってまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

サービス提供責任者 近藤 加奈子



特別養護老人ホーム(地域密着型) ゆりの荘

『安心・満足』

新年あけましておめでとうございます。日頃より当施設をご利用いただき、心より御礼申し上げます。皆様のお力添えにより、無事に新春を迎えることができました。旧年中はご入居者様、ご家族様、関係者の皆様より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も「安心・満足」の生活をお届けできるよう、職員一同努めてまいります。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。2026年が幸多き一年となりますよう祈念いたします。

介護副主任 生澤 祐介



ケアハウス ゆりの荘

『あたたかい心・チームワーク』

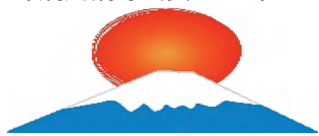
私たちケアハウスゆりの荘は、人生経験豊かなご利用者様の日常に寄り添い、ベテラン職員が「温故知新」を実践しながら日々業務に励んでおります。ご利用者様の生活を支えるため、法人本部や栄養調理部、相談援助・看護介護職員と連携し、居宅支援サービスや地域の皆様、医療機関・行政との繋がりを大切にしています。令和の新たな午年の幕開けにあたり、皆様の健康と笑顔をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。生活相談員 藤原 貴志



居宅介護支援事業所

『あたたかい心・チームワーク』

新年明けましておめでとうございます。地域の皆様には日頃から当事業所にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年は知識を深める為に様々な研修にできるだけ参加しました。本年もご利用者様・ご家族様に寄り添い、地域の方々、主治医先生、サービス事業所の皆様、行政等々と連携し、介護支援専門員(ケアマネジャー)個々の資質向上に努め、法人基本理念のひとつである、あたたかい心・チームワークをモットーに、チームとして支援させていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い申し上げます。主任介護支援専門員 元井 モモ子



デイサービスセンター きじの荘

『安心・満足』

あけましておめでとうございます。きじの荘では、法人理念である「安心、満足」を念頭に置き、皆様の在宅生活を支える同伴者として歩んでおります。

きじの荘のご利用は、ご自宅から一歩外へ踏み出す大切な外出の機会です。同世代ならではの弾む会話や共感できる内容、みんなで食べることでより美味しく楽しい食事の時間、そして一緒に取り組む体操やレクリエーションなど、お一人では味わえない元気になる時間が流れています。

職員は、自立支援に情熱を注ぐことはもちろん、何よりも優しい気持ちで寄り添うことを大切にしております。本年も、皆様が笑顔で一日を過ごし、「今日来て良かった」と満足していただける場づくりに職員一同努めてまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

センター長 宮脇 明人



グループホーム ほのぼの園

『あたたかい心・チームワーク』

2025年はご利用者2名の入れ替わりがありました。新規のご利用者は私自身初めてでしたので、他の職員に助けてもらい七転び八起きしながらも一年が充実し、自分自身も成長できたのではないかと思ひます。基本理念に「あたたかい心・チームワーク」がありますが、介護の仕事は一人黙々とは出来ません。職員同士「あーこーだ」と意見を言い合い、ご利用者それぞれに合った支援を日々行っています。2026年も何かのご縁でお会いできたご利用者や職員達と笑顔溢れるリビングでわいわいと賑やかに、一日一日を大切に過ごし、お一人お一人の思いを大事にし皆様の健康と幸せを願う一年にしたいと思ひます。

ケアマネジャー

遠藤 美和



保育所 ちびっこランドらくえん

『ひとりひとりが主人公』

子ども達と大勢の方々とのつながりを大切に交流してきました。出会う方々と積極的にあいさつができるようになったり、大勢の方の前で歌をうたったりなど自分なりに表現できるようになりました。

2026年もつながりを大切に、ひとりひとりが主人公となり輝ける活動を考え楽しんでいきたいと思ひます。日々の保育や様々な経験を通して、「自分でやりたい」という子どもの気持ちに共感したり、見守ったりしながら、自主性が育つように丁寧に関わっていききたいと思ひます。また、実体験を重ねることで自信へとつなげ、「生きていく力」や「社会性」を育てていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

園長 多方 由紀美



厨房

『安心・満足』

〇皆様に健やかな生活を送って頂くように努めます。
〇こちらから言葉かけをし、耳を傾け、相手の思いを尊重した食事づくりに努めたいと思ひます。
皆様の健康と笑顔があふれる一年となりますよう心より祈念いたします。本年もよろしくお願い致します。

管理栄養士 多方真知子



幼保連携型認定こども園 キッズランドやちよ

『安心・満足』

「安心・満足」の理念から、一日の大半を過ごすキッズランドで、子どもたちが生活、遊びの全てにおいて、心から安心し、満足のいく時間が過ごせるよう職員一同取り組んできました。乳児は安心して自分の思いを表わせるように丁寧に受け止め、「自分のことを見てくれている」という安心感に繋がるようにしています。幼児は「やりたい」という主体性を大切に、見守ったり援助したりしながら、成功体験を増やし、自分に自信のもてる子、自己肯定感の高い子に育つようにしています。

2026年も子どもたちの健やかな成長を促してしていけるよう子どもの目線に合わせ、子どもも保育者も楽しむ保育を目指して努力したいと思ひます。

副園長 市位 幸子

